

主編：李鴻鳳、沈友益

中華民國史史料外編

廣西師範大學出版社

廈門大學圖書館珍藏
主編：季嘯風、沈友益

中華民國史史料外編

日文史料
第十五冊

——前日本末次研究所情報資料

廣西師範大學出版社

MAR 25 1934

京津

支那經濟の復興は

まづ借款整理から

日滿支間の交渉近し

【東京特電二十四日發】
日支關係の好轉しつつある折、支那銀行行政院長は今日の支那が何を措いても經濟的建設が必要なる事を説き、そのためには莫大な外資の輸入を必要とする、それには外國關係未拂債務を完済する事を前提とする、遺憾なる返済は不可能なるも出来る限り双方のため舊債務の整理を行ふ決心がある旨を説いた、これが動機となり、我が對支債券（元利合計九億圓）の整理交渉が具體化せんとする、或行を主張されてゐる、即ち對支債權者（年率）二十一銀行會社より成る（一）日滿支間交渉日公使、（二）正三回

等なて用意ある旨を傳へて來たのこい、對支債權につき日滿支關係者間に整理交渉開始が豫想されるに至つた而して同組合幹事内田東亞興業常務は來月上旬渡支することとなり、債權整理交渉の開始をたいと見られ、その成績如何によつては正式交渉も豫想外に早く進められ、るであらう

支那當局期待

【東京特電二十四日發】一九三〇

年の對支列國債權會後全く償還してゐた我が對支債權（元利合計九億圓）の整理交渉は南京政府において會議を開く用意がある旨、聲明したの、近く非公式に非難的交渉が開始される豫想である

目 三

金融爲替統一

SEP 11 1934
 東京 權を握る目的か
 世界的投機の特色消失

上海十日電（路透） 財政部は突如爲替金投資賣買を禁止して當地財界を驚愕せしめて居るが、右は國民政府財政部が金融

爲替市場

の統一權を

握らんとするものである、即ち諸外國に倣つて爲替管理を行はんとせるもので此投機を抑制することに因つて最近重大問題となつた銀の海外流出をも間接的に防がんとする意圖も含まれて居る様である、然し是により金融爲替市場は極めて狭められ從來八割の投機二割の實需を以て居た支那銀行はその事業が極めて減退すべく又一般

貿易業者

も爲替のカ

バーとしても標金市場への繋ぎが不能となり世界的投機市場としての上海の特色は一舉に失はれ、日本及び外國筋を除いては事實上の爲替投機市場は閉鎖される運命に立至らんとして居る

致馬産砂糖と

日本糖の競争

支那の專賣實施で

白熱的激化を招來する

JAN 10 1935
 支那は上
 海に砂糖の專賣を實施せんと
 して居るが、此が將來支那の
 金融市場に及ぼすものとする
 らうと云ふ

中心とする 各國の砂

糖賣込額は相當激化され興味ある局面を展開するに至るであらうと云ふ

支那は砂糖の供給を海外に仰がねばならぬ現狀にあり仍つて是を日本から求めるが、支那は例に依つて、兩國糖商を操り有利な買付けを爲さんとする事は、日本に對しては、輸出の妨げとなるが、日本は輸出の妨げを少なくするが、我國の糖業は既に自給自足の

域を脱し明年度より激しく海外に輸出せんとして居る現狀にあるので支那の砂糖專賣を機會にキナバ糖と日本糖との間に相當激甚な販賣戰が行はれる事は免れないであらう而して從來相場の変動ある毎に支那商人側に代金不拂等の懸念のあつたものが專賣制に依り其懸念が解消され、從つて

日本糖も

キナバ糖

も安んじて賣込みに力を注ぎ得る事となるから此所にも競争激化の要因がある、然うして支那が其の砂糖を多く買ふかは其時の情勢に依るものと見て他は無いだらう

末次研究所

對英借款交渉に

宋子文を派遣

財政難の切抜けに

萬策盡きた國府の策

上海十二日、大東一、國民政府は、宋子文を先づ渡米し、府は現下の金融危機切抜けの米貨の輸出策の緩和に就て米爲め過般英米兩國に對して當局と交渉を行ひ、次で英國借款交渉に狂奔しつゝ、對英借款の交渉に移る。十八日中國銀行經理員、宋子文を英國に派し英總領を同伴してインプレス、當局及び金融業者に對するプレシヤ號を出發すると傳へる。款の直接交渉に當らせる事と傳へる。

JAN 15 1935

米國で銀問題を

英國で借款の交渉を

宋子文赴英の重要任務

國民政府が刻下の金融危機切抜けの爲め對英米借款交渉を續けつつあり、遂に前財政部長宋子文を英國に派遣することとなつた。既に既報の如くであるが、其後の情報に依れば、宋子文は、宋子文は、上海を出發し米國經由で英する。宋子文の任務に就ては米國に於て同國政府との間に銀問題に就て交渉して後に英國に渡つて借款交渉に乘出すものである。此借款に就ては既に國の手で登千萬乃至

宋子文は、宋子文は、上海を出發し米國經由で英する。宋子文の任務に就ては米國に於て同國政府との間に銀問題に就て交渉して後に英國に渡つて借款交渉に乘出すものである。此借款に就ては既に國の手で登千萬乃至

宋子文は、宋子文は、上海を出發し米國經由で英する。宋子文の任務に就ては米國に於て同國政府との間に銀問題に就て交渉して後に英國に渡つて借款交渉に乘出すものである。此借款に就ては既に國の手で登千萬乃至

南京政府の

砂糖貿易の専賣計畫

我外務省の警戒

東京二十日發(聯合) 南京政府は最近に到つて砂糖専賣制度實施を計畫し、更に糖業者方面に於て上海に砂糖合作社を創設して支那市場を國內糖(主として廣東糖)及びジャワ糖を以つて獨占せんとする傾向のある事は既報の通りであるが、十九日外務省に到達した情報に據れば、

孔財政部長は更にマツチの専賣制度實施を計畫中の模様で、同法案に據れば一般市民の糖寸製造販賣を許さず、支那に於ける操業中の外國人糖寸工場は一切政府より買収されるものであり上海の大中華糖寸會社總支配人劉興成も右糖寸専賣制度實施の爲め運動中であり、マツチ製造販賣の不操業を阻する當該間上りの工場買収運動も相當ある事情にあるので

我が外務省局では右砂糖にマツチ専賣問題を極めて前視し

専賣制度

の内容如何に依つては現行日支通商條約に抵触するものとして勝算抗に抵抗することとなるべく、南京政府及び民間方面の動向に關し多大の關心を拂つて居る

通貨政策改變は

先づ平價の切下げか

然しながら實現は困難だ

華商筋では反對意見

支那の通貨政策の統一乃至改變が傳へられ各地市場を異様な不安狀態に導きつゝある現狀に對する地産商銀行筋並に華商有力筋の觀測は大體次の如くである

銀行筋

蔣介石氏が財政部要人及び財界權威等並に外人顧問を召集して中國の貨幣制度改革實施に就き協議を行ひ、右協議に就き協定を行體味を帯び且つ實施は舊正月後たらんと云ふニハはどしも事實のやうである、然し乍ら政府が現在左様な政策を突如斷行するといふことには就いてはなほ多大の疑問があるが若し假に行はるゝとすれば先づ一般の平價を下げ、先づ中央、交通の三行を限度に行はるゝのでは

華商筋

をば華商財界の有力者は右の如き所見を發表して居る、政府の斯る處置が事實とすれば平地に波を起す様なもので更に中國財界を大混亂

本大新聞所

に陥れ

國民經濟は破綻を招くであらう、然し對アメリカの爲替對策としてなれば例の「金約款問題」に絡んで何か必要かも知れないがそれにしても急激な政策は弊害をこそ生利するところを極めておなじ、中國の銀行家の殆どは平價切下げなどといふ事には反對である、斯る問題は技術的に考へてもやり得ない、現在上海在銀は二億元見當で而も兌換は六億元見當發行されてゐる、平價二分一切下げても

かね一億の不足を免かれぬ、尙ほ國際問題として中央、中國、交通の銀行券を行ふといふ様なことは不可能で行ふとすれば中央銀行に現銀を集中し兌換發行の諸銀行紙幣を中央銀行券に交換することが必要となるわけは技術的に見て容易に出来ないと思ふ、中國人の全體の現銀所有は約二十億元といはれてゐるが平價切下げで隔かるものは本當は中央銀行でなく

銀の潰滅者で銀行側は信用失墜で却て大なる不利を招くことは當然である、斯る處置は銀行家の反對あることは疑ひもないところであらう

支那に於ける

舊債整理狀態

1935 2月 26日 京 舊債鼻が付きかけた
交通部の整理狀況如何

日支關係の好轉と共に兩國の上海、芝罘、海龍、電綫借款の整理交渉が既に其緒に就きつつある折柄、支那の舊債整理狀況は頗る注目されて居る。而して支那の舊債整理は殆ど手の着つけやうなき迄に「病室に入る」と謂はれて居るが、それでも漸次元金を償切つたり、利息を帳消しして最近では整理が速々目鼻が付きかけた様である。即ち左記に舊債の整理狀況に關する一瞥を附する。

交通部部長朱家驊氏就任以來部長は舊債の整理交渉と各借款を行ふ傍ら鋭意収入の増加に努めて財政狀態の改善を圖つて來たが、今その主なる舊債の現狀を列記すれば

上海、芝罘、海龍、電綫借款
一九二〇年二月十日北京政府交通部東亞興業會社との間に締結した一〇、二二〇、〇〇〇、四七五の借款で擔保として同海龍電綫の設備一切が入つて居る。爾後時々借款が入れれたがそれでも昨年末には延滞元金合計で元金の二倍に當る程に達した。而して交通部は東亞興業會社と元金合計一〇、二二〇、〇〇〇、四七五の元金支拂ひに着手することに決定した。これによつて交通部は月賦七萬五千元を元金制賦として償還することになつた。

電話事業借款——一九一八年十月廿九日北京政府交通部は中日實業公司との間に一、千萬元の借款を締結し、一九二三年一月廿五日その延滞利千六百七十七萬元を第二借款として書更へた、その

の後數次延滞利息や新借款が〇算せられて昨年末にはこれが元金合計三九、二九、五九二、五八八に達した。交通部は折衝の結果年利九分の原契約を元金二、三〇〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇の半額に年利六分半額は無利息据置きと協定した。これによつて交通部は毎月八萬の支拂を負擔することになつた。

新鹽鹼無電借款——一九一八年交通部はマルニコ無線會社と契約したカンニガル總化、ウルガ三無電氣建設借款を締結したが、昨年末その元金合計は四七、六二七、〇〇〇、〇〇〇に達した。交通部は是が整理方法として二十萬磅以上の利息切り捨て元金十七萬磅は廿ヶ年間月賦七百九磅とすることを協定し、會社は更にこの月賦の半額を無線器材購入とチニルムフオードの同社無線學校への中國留學生派遣費に充當することを承認した。

中國電氣公司——昨年末までの同社借款は元金合計一五、一三、三七八、四〇〇、〇〇〇となつて居たが、その償還方法は左の如く協定された。米金三千萬の月賦は還し、償還金額九十萬に達せばこの借款は皆済するものとす。

イシー・メンス借款——元金合計二七、一〇〇、〇〇〇、九九九のイシー・メンス借款に就ては十ヶ年間月賦六萬金を償還することとし協定其他G.R.C等英佛系電氣會社より

元金合計二九、三二五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
六二、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
二四、九〇〇、〇〇〇、〇〇〇
五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
二二〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
一四、五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
三、一六〇、〇〇〇、〇〇〇
同二、二二〇、〇〇〇、〇〇〇
等であるが、此等の償還は著々實行されて幾頭幾千もない、但し上記の所謂西原借款とは全然別個のものであり、交通部はこれ等舊債整理の目的づくと共に更に招商局の舊債整理に着手する豫定である

又復抜打的に

輸入税の二割引上げ

MAR 28 1935

當面の財政難を切抜ける爲め

▽……國府の苦肉策

南京二十七日發、大東、財政部が四月一日より實施を自論する。居る關稅々率改正は輸入稅率に於て一律に二トパーセント内外の引上げを行ふものと傳へられて居るが

支那財界

の現狀及び從米の例證から見て現行稅率を更に引上げること其結果に於て反て實收入減退と密輸入の盛行を伴ひ、且つ一般的には物價を漲が上にも昂騰せしめて民衆生活を益々苦境に追込む結果となる事明かである、この間の事情を熟悉する支那政府が敢て是を強行せんとしつゝあるは現下の窮乏ならぬ

財政危機

切掛けの爲めの借款乃至公債の發行に備へる空想保護の爲めに外ならぬと觀られ其成行は頗る注目されて居る

APR 13 1935

南京政府の財政計畫

わが銀行家の意見を其儘採用

宋子文氏の親日態度

東京特電十二日發、財政部が關稅に關し、支那公債カドカン氏を中心として、關稅を削減し、つゝあつたといはれる宋子文氏は從來反日分子の通稱と目されての行動を注目されて来たが、宋

氏は最近日本國策人の誘惑を求め、つゝあり、既に前駐支公使公使少將に對し、面會を求め、關稅の見直しを遂行する可き旨を出てゐる、か

主な原因であらう、又宋氏は支那金融の發展を關東に關し、三愛銀行上海支店を吉田首相と關係三回に亘り、關稅の見直しを遂げた由で、宋氏の財政計畫は吉田氏の要求を其儘採用したものである

宋次研究所

APR 27 1935

中國の發券統一は

果して可能なりや？

國民政府愈々大事業に着手

京
津

先づ兌換券辦法の制定

國民政府は總々爲統一と言ふ大事業に着手する形勢となつたらしい、この問題が如何に困難なものであるかは既に報道した如くであるが其解決が中國通貨の發展上根本的なものであることも確かである。

傳へられる所に従へば國民
政府財政部は各省の兌換券發
行を統一する見地から
兌換券辦法 制定を準

兌換券辦法制定を準

備中の先づ左の如き辨法を真

施することとなり各方面にこの旨傳達したと言はれる――

一、省銀行或は地方銀行は二

元及び一元以上の兌換券を發行するを得ず、中央銀行は換券を統一使用するものとす。

二・農村金融調節のため一元未満の輔幣券（補助紙幣）は、暫時省銀行或は地方銀行に

於いて發行することを許可す、但しその際現金準備六割と保證準備四割を有せざるべからず、尚ほ現金準備の二割は倉荷證券を以て代ふることを得

ふそことを得

三、省銀行或は地方銀行が既に發行したる一元及び一元以上の兌換券ヲ財政部が於いてその額を調査したる後期限を附して回收す、而して未回收前は中央銀行は兌換券を以て準備金となし中央銀行に交附保管す

右發券統一辦法の内容に就て見るとその

て見るとその

實施範圍が餘り明瞭

でない。中國、交通銀行は除外するとしても、其他の上海各行兌換券は果してその中に含まれるのかどうか——その例れかてよつて問題の重要性に大分隔たりが生ずる。省銀行を省立銀行と解すれば、範圍は限定されるが、省に例へば資本關係を有する銀行とすれば、浙江興業其他はこの範圍に屬し、四明銀行其他は

地方銀行に含まれるから、範圍は發券銀行の全般に亘ることとなる（封建日本の藩札制度に彷彿たる各省に於ける兌換券の横行が中國幣に幾多の混亂を加へてゐることは周知の事實である。之等

は一律に省立銀行又は省官
局の發行にかゝる極めて不安
定な通貨である、然かもその
發行の動機が多くは各省の財
政難に發して居り、加之一時
的な籌法であつた筈のものが
恒久化した點を差しながらの狀態
に陥つてゐるのである、若し
今次の

發券統一に於いて一
元又はそれ以上の兌換券を同
收するとすれば、莫大な資金
を要するは勿論、先づ地方財
政に課はりついてゐる老大に
赤字から征伐して行く世はな
い、又今回の辦法には一元未
滿の補助幣は暫定的に發行を
許可する建前であるらしいが
地方農村の金融状態から見
「亦已むを得ざる所であらう。
たゞ國民政府の地方財政整理
が行憚んだ場合禁止されざる
補助幣を中心に

和時樂を中心

地方府が債券を發行し餘は相當多いと見なければならぬ

省立銀行乃至省官錢局發行兌換券の統一が既に斯く至難な現在、華商銀行全般の兌換券統一に至つては更にこの困難は倍加せざるを得ない、國民政府の中央銀行中心主義は原則的に甚だ

結構であるが複雑な信用關係乃至資本力の點から見て未だ

時機尙早と言はれて

なるの傳令中國交通開
行の援助を受けるとしても

中央銀行が獨逸統一の先陣
に立つて莫大な資金を動か

すことは現在の市場関係が
らして餘り望ましくないこ

とである。結果的に惹起されるインフレーションが中

國財界に與へる影響をこの際輕々に看過することは許

券統一の急速な實現を見る

それは不可能である、
それがたい

中國通貨の改革に
つて基本的な問題であり、

この大局的見地から實現へ
向つての氣運が徐々に動き

つゝあることだけは事實である



サ氏金融政策に

1935 宋子文の反對

支那の幣制を素直なもの

APR -2 商工界も反對

上海三十一日發 昨今發表され可なり反對を興へて居るサッスン卿の金融政策發行に依る金融救済主張に對し、全國經濟委員會常務委員宋子文氏は昨二十九日これに不賛成なる旨の談話を爲した、尙ほ中國銀行の董事長就任に就いては「政府方面では自分を政府側の董事として推薦するに決したことは確實だが董事長の件に就いては株主總會の選舉に依ることであるから未だ判然としない」と語つて居る

者でないから財政部を代表するが如き意見の發表をなすことは出来ぬが、恐らく余が財政部責任者となつたならばその主張には恐らく反對するだらう、サッスン氏の計畫以外に目下その他の金融救済の新計畫はないが本人の意見とすれば人心の安定が最も肝要であると思ふ、人心の不穩は金融に極めて大きな關係がある」と語ると對しその人心安定計法は？と詰めかければ「一般人が種々しい謠言を信じなければ宜い譯だ」

同氏が往訪の支那紙記者に對し語つた談話の内容は左の如し
サッスン氏の金融救済計畫は元來我國に有する貨幣に更に一種の貨幣を増加せんとするもので余はこれに對して賛成することは出来ぬ、右は却て中國幣制を紊亂するもので余は財政部の責任

と語つた、尙サッスン氏の建議に對して銀行界は既に中國の需要に適合せず反對意見を發表して居るが、本市各商工界領袖も同様にサッスン氏の建議は現存の中國の環境に適すと反對表示を爲して居る、即ちサッスン氏の言に依れば中國の幣制を英人の手に掌

中央中國交通

MAR 31 1935 三銀行を政府で統制

全國金融界を統制の爲めに

兩行の内部組織變更

上海三十日發(大東) 國民政府に財政部の府は上海金融界の不統制は、那首腦銀行に對する政府の意志が徹底せざるところに
根本原因 があるものとして、今日一億元の金融公債を發行して中央銀行に二千五百萬元、交通中國兩銀行に千五百萬元を増資し是に依つて中國、交通兩銀行の政府所有株式總数の五分の三以上に達せしめ中央銀行と共に定

統制下に置くこととなつた、是と同時に當然中央銀行條令並に中國交通兩銀行の内部的改組が行はれることとなり、中國銀行は今日午後株主總會を開き増資問題及び是に伴ふ内部改組諸問題を討議することとなつたが、財政部では既に政府所有株式の代表者とし

と語れるもので今後の中國商工業は國際貿易上に於て何等の自由貿易を求むる權利がなくなる現今は商工業が衰微しつつあるから救済計劃は後からと建しられるがその結果は何等利益するところはない、目下の急務は衣食の二事

で諸外人の力を仰がず、入超を減少せしむることである、貨幣問題は米穀が買収せんとするも防止することが出来ぬからサッスン氏の意見は結果中國の國情に適合しないことになると云ふのである

MAY 25 1935

第 日

國力疲弊、歳入激減 財政難深刻化

國民政府の新豫算

【上海特電廿三日發】國民政府の民國二十四年度豫算は歳入の極大減縮を伴ひて二十二年に比し、約半減に達した。歳入は九億四千九百二十五萬元、歳出は九億四千九百二十五萬元、歳入不足は二億四千五百萬元に達する。このうち歳入不足は、前年度に比し、約半減に達した。このうち歳入不足は、前年度に比し、約半減に達した。

三國民の生活に及ぼす影響は、極めて深刻である。政府の財政政策は、いよいよ深刻化している。

中南銀行に對し

現銀兌換禁止

中央の紙幣統制

東京 天津銀行公會の決議

昨日天津銀行公會は天津中南銀行現銀兌換を禁止し中央、中國、交通銀行紙幣を以て交換する旨決議した。右に就き當地經濟通は左の如く觀測して居る。

表面的理由は現銀の密輸防止にありと言つて居るが、眞の目的は南京政府の紙幣發行の統制にあるものと見られる。即ち天津に於ける紙幣發行權を有する交通銀行十二行の發行高は五十四億七千萬元、外國銀行六行の發行高は三十九億三千萬元であつて此中中國銀行三千二百十萬元、交通銀行二千五百萬元中央銀行の發行高は五十四億七千萬元である。

統制下に於ける中國實業銀行が二百萬元に達し他は小銀行合せて十萬元程度に過ぎず殆ど紙幣發行の統制は達成された感があるが、統制外の銀行に於ける紙幣發行權を有する中南銀行を如何に金城を固め、發行高を有し隠然たる勢力を有して居る、中央がその四行準備庫を抑へる爲め銀行公會として紙幣發行權を有する中南銀行の現銀兌換を禁止せしめたものと見られる。亂暴を極める支那の紙幣統制は經濟危機の支那に於て豫算中の難題であらう（大東通信に據る）。

末次研究所

支那に於ける

各省財政状態

紊亂その極に達す

AUG 2 1936

京津

(一) 衛思德

中國は「有財無政」の國家と云ふことが出来る、清朝は勿論民國が成立以來も依然として變化して居ない、余は今茲に各省の財政に就いて検討してみよう、二十餘年來の封建主義の剝離は連年の混戦を惹起せしめ收支系統は紊亂状態となつた、従つて人民の負擔は非常に重くなつた、政令は都門の範圍を出でず、數度各省の地方及び中央財政の形勢の方法が講ぜられ且つ又中央地方收支系統の法規を頒布したが、此等は空名無實で何の効果があつたかつた、事實當時の封建軍閥は「戰爭すれば領土を得、土あれば財あり」と云ふ主義を懷いて居た、彼等は自己地盤の統轄に總ゆる方法を盡くし利益あるものは全部吸収した、中央の政令は彼等にとつて一毫一微の力にも當らなかつたのである

一九二〇年より一九二七年来の大革命は無論どの方面から言つても中國の社會全般に一現象を與へた、民國十七年南京政府は第一次財政會議を召集した、これはその一現象と謂へる、本會は中央と地方の財政收支系統を劃分した、更に土地税、契稅(不動産稅)等を地方收入と爲すことを決定した、又營業稅を地方の所得となした、以上は多年懸案となつて居たのを無事解決したのである、民國二十年十一月に至つて國民政府は收支總算を始めて公布した、茲に中央地方收支制度が劃分されたのである、この總算收支分類の標準は即ち民國十七年の第一次財政會議に決議されたところ

に依つたのである、中央地方收支の系統は相當の規模を具ふるに至つたが、今二三年來各省の財政收支状況を回顧すれば依然として畸形的であり紊亂して居ることを知ることが出来る

甘肅省の如き今尙貸出制度が流行して居り青海、四川及びその他邊疆省は豫算を建てたことがない、内地の各地の各省は毎年財政當局より概算を指示されるが一枚の空文に過ぎない、概算書に規定する額と事實上の收支額は常に大きな距りがある、例へば廣東省 十二年度の歳出總算中債務支出は二二〇〇〇〇〇〇元となつてゐるが實際の支出は七、〇〇〇〇〇〇〇元で豫算の三分の一に達しない、豫算の正確さはこれを見て知る事が出来る、中國各省の財政の紊亂は暗形であり且つ病態である、これは中國が半殖民地的狀態を呈して居る爲めである、我々は各省の財政の病態及び前途を大いに理解する必要がある、而して半殖民地的存在にあることより收支が赤字になつたことも檢討を加へねばならぬ

末次研究所

(一) 收入方面より各省の財政を見る

民國廿年度及び廿一年度の各省の財政收入を見るに、收入の大部分は田賦が占め、次は營業稅、第三は不動産稅となつて居ることを知るのである、二十年度の各省田賦收入平均は總收入の二八・三八パーセント、廿一年度は更に増加し三三・五三パーセントを占めてゐる、營業稅の收入は各省平均は二十年度は一三・一四パーセント、二十一年度は一五・六五パーセント、不動産稅は二十年度は各省平均三・八八パーセント、廿一年度は九・四六パーセントとなつてゐる、この外に省税に列入するものには船稅、房稅などがあるが何れも少額である、二十二年と二十三年の各省の經常稅收の重要部門は依然として廿年度、廿一年度と同様である例へば田賦をみると山西省は廿三年度の田賦收入は六百五十餘萬元で總收入の約四十五パーセントを占め江蘇省は三十七パーセントに達して居る(つづく)

支那に於ける

各省財政狀態

素亂その極に達す

AUG 27 1935

東京 津 (四) 衛 思 德

(三) 赤字の對策

數年來各省の財政歳入方面は極度に増加し人民の負擔は益々重くなつた、各省地方財政收入の最大なるものは田賦であることに注意せねばならない。昨年の中央農業實驗所は全國二十二省六百八十七縣の農民の租稅負擔を發表したが、それに依ると一九三三年各地の租稅は非常に増加して居ることを見る。

水田は一九三一年にあつては田價の二・〇七パーセント一九三二年は二・三七

パーセントに増加し一九三三年度は更に二・六パーセントに増加して居る、旱田の税率は一九三一年は田價の二・三六パーセント一九三二年は二・五〇パーセント、一九三三年は更に二・八〇パーセントに繰上りした。是に依つて人民の負擔は必然的に重くなり財政は益々困難となるばかりである。

財政困難とは收支の償はず赤字が多いことを指すのである、湖南省の二十四年度豫算を見ると百四十萬元の不足となつて居る、四月十

五日の大變に依るに、湖南省二十四年度豫算は百四十萬元の赤字となつて居る、二十四年度は六百萬元の公債補助を受けることになつて居るが、計費には入れてない。浙江省は二十三年度十月間の實収入は一千四百四十萬七千餘元で繰返しを合すると一千四百五十萬元の足を出して居る實支出は二千五百九十四萬元であるから七百九十四萬元の赤字となる。東省の二十三年度は一千三百餘萬元の赤字を示して居る。その結果豫算は編成不能となつて居る、最近五百萬元の軍費が立法院を通過したから廿四年の豫算編成はこの爲め漸く厄を免れることが出来た。廣東省の調査に依れば廿四年度の歳出入はすでになつて居る、歳入は六千五百六十萬元、歳出は六千九百萬元となつて居る。即ち四百萬元の赤字である、この他甘肅省は二十三年度に於いて三百五十萬元、二十四年度に於いて二百五十萬元

の赤字を出して居る。河南省歳收は五分の一に達して居る。省は二十三年度において百萬元の赤字、河北省は二十三年に二百萬元の不足をそれ年へ示して居る。貴州省は二十三年度省庫收入一千二百餘萬元(貴州貨幣)支出一千五百三十萬元で三百二十萬元赤字である、この状態が今年も又繰繰されて居る。此等赤字財政の原因は既に上述の如く非生産的支出の過度の膨脹の爲めである、斯くして財政部は益々苦境に陥るばかりである、非生産的支出の膨脹は一日々と大衆の納税能力を制約しつゝあるのである、これこそ今日の各省財政を危機に追ひこむ最大原因を爲すものである。湖北省の財政は湖北銀行より發行された山賦の徴收は平均五割となつて居る、湖南省では最近徴收を省の軍用費などをそれである、分たす一日に四回五回を徴收省安撫財政廳は今年省庫幣を發行し何の効果を擧げて居る徴收し居る率は一割増収するに於いて二百五十萬元、湖南省二十三年の田賦ことになつた(未完)

宋大新元所